

Victory

NO.5

令和3年8月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館



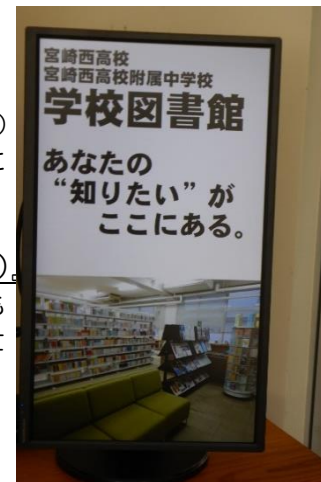
まだまだ進化する図書館

図書館がまた一つ進化しました。

「情報発信」は図書館にとって大切な役割です。今年度は、DX（デジタルトランスフォーメーション）時代に対応できる学校図書館を目指し、デジタルとアナログの融合する空間デザインを構築中です。

そこで、『デジタルサイネージ（電子看板）』を導入しました。図書館の入口左側で、来館者はもちろん、通りすがりの皆さんの目を釘付けにする仕掛け！

タイムリーな情報を流していきますので、お見逃しなく！！



また、生徒用『iPad』40台、『ノートパソコン』19台常備しています。探究活動や授業の課題、学校行事での活用等利用可能です。



待望の『複合機（コピー機）』も常設しました。

こちらも図書館の資料を活用した探究学習等で必要な図書のコピーが可能となりました。

（個人のノートや課題は除く）

いずれも気軽に声をかけてくださいね。



朝陽祭に向けて、学校全体が動いています。

中学1年生の軽やかに伸びていく歌声に元気をもらい、高校3年生のバス、テナー、アルト、ソプラノが織りなすハーモニーの美しさに胸が熱くなり、と声を通して人の成長を感じる今日この頃です。

さて、昨年同様コロナ対策を万全に文化の部・体育の部と無観客の中で紡がれる本校最大の祭典となりますが、みなさん一人ひとりの「今、この時」が縦系横系となり紡がれるとき、壮大な一枚のタペストリーが完成することでしょう。



図書館からのお知らせです。

☆本は返却しましたか？

長期貸出の本の返却は8月24日（火）でした。
まだ、未返却の人は今週中の返却をお願いします。



☆新着図書続々仲間入り

現在、新しい本が毎週のように入っています。

「新着資料紹介」も発行しているので、気になる本のチェックを忘れずに。7月に店頭購入した本が対象です。同世代の選んだ本がみなさんを待っています。

棚からひとつかみ『さよなら、夏の日』

この時季になると、自然と頭に思い浮かぶのが上記の言葉。超有名なミュージシャンの楽曲タイトルにもなっていますが、処暑を過ぎるころから、セミの鳴き声に変化していることにお気づきですか？ 晩夏のなかで本を紐解くひと時を。

「科学的とはどういう意味か」森博嗣著

(幻冬舎 2011) NDC404 ㊦

工学博士であり多くの小説を世に出している作家でもある著者が、私たち読者に投げかけるタイトルにもなっている問い。本書は、2011年の東日本大震災、原発事故後書かれた。そこには、社会の中で起こる様々な事象を自らの頭と心で見極めて判断せよというメッセージが込められている。あまたの情報から科学的根拠を主体的にあぶり出し、数字に貪欲にアクセスし比較、類推しながら真実をあぶりだす論理的思考を持つことの重要性を突きつける。

まさに、探究のプロセスではないか！



「恋人たちはせーので光る」最果タヒ著

(リトルモア 2019) NDC911 サ

夏の終わりは、不思議なくらいいつもセンチメンタル。ぼんやりした私の頭の中ではさまざまな言葉が飛び交っている。この言葉たちをつなぎ合わせ、切り取り、温め、あるいはそのままダイレクトに使う「いま」の素直な気持ちを誰にも邪魔されず表してみたい。こんな時は、最果タヒの散文だ。「8月」を読んでみる。「(前略)消えてく夏に期待したもの、全部外れて全部背負って秋に染まるよ、赤黄茶色土の色。」…心に沁みる。著者の詩集は、表記も装丁もまたスタイリッシュだ。



扉を開こう。

新たな世界が君を待っている。



10/30

午前

宮崎県立図書館の秋の読書週間
特別イベント 2021 開催

「ミシマ社 三島邦弘さんにきく本の未来、出版の未来」

と題して講演・インタビューが行われます。

本校図書委員も進行・インタビュアーを務めることになっています。まだ先ですが、本のこと、出版のこと、書店のこと、活字のこと、文化のこと、働くということなどなど興味を持っている人！ぜひ三島さんの話を聞いてみませんか？

「全国高等学校ビブリオバトル
第6回宮崎県大会」

昨年度コロナで中止となった本大会、今年はやります。

県内の高校から1名ずつのバトル参加し、チャンプ本を決めます。

栄えあるチャンプ本に選ばれた本とバトルは、毎年1月に行われる全国大会の出場権が与えられます。

本好きのあなた、本に代わって熱いメッセージを届けませんか？

バトル大募集中！！

*興味ある人は、9月10日(金)図書担当職員まで。

10/30

午後

